

仏説阿弥陀経の絵解き その3

「仏説阿弥陀経変相(善光寺蔵版)」(嘉永元年 森田易信 筆による木版画)

「仏説」とは「お釈迦様」がお説きになったお経という意味。

「阿弥陀経」は浄土三部経の一つで、「阿弥陀仏」と「極楽」について説かれたお経。

「変相」とは「お経に文字で書かれてあることを、絵に変える」という意味。

極楽には、美しい音楽が流れています。

琵琶や太鼓などの楽器が空中を飛んでいます。

極楽ではいつも、素敵な音楽が流れてることを表現しています。

大地は黄金でできていて、きれいな花が降りそそぎます。

人々は、毎朝、かごに美しい花を盛り、他の仏の国に飛んでいき、その仏を供養します。

お昼には極楽に戻ってきて食事をし、その後は瞑想や散歩をします。

極楽は、このように美しいところです。



極楽の美しい音楽



初参式のご縁にあわれた方々



祝辞を述べて頂いた石原総代

ろじや、ないよう」と言われ
るかもしれませんが、ちよつ
と手を休めて、法要へお参り
下さいね。きつと良い骨休み
になると思いますよ。

住職レター

先日(五月二十九日)、「初参式」(善教寺仏教婦人会主催行事)を勤めました。『初参式』とは、お子さまの誕生後、初めて仏さまの前で手を合わせ、お祝いする仏教行事です。初参式ご参拝の皆さま、来賓出席された善教寺総代の皆さま、仏教婦人会役員の皆さま一緒に、本堂内阿弥陀如来さまの前で写真を撮りました。

さてこの時期の法要といえば、安居会法要(夏の法要)です。『安居(あんご)』とは、僧侶が一定期間一ヶ所に集まり、研鑽修養に励むことで、その由来は古代インド(仏教発祥の地)において、雨季に森などを徘徊して草木小蟲を害する事を防ぐために行われました。

この時期、法事でお参りすると、「雨が降ると直ぐに草が伸びて、毎日毎日、草刈りに追われるよね」と話されます。お寺の周り、毎日どこかで、誰かが草刈りをされています。草刈りや農作業に忙しく、「寺参りどこ